

第4回学校運営協議会では、学校からの学校評価結果と学校運営協議会のこれまでの取組について話し合い、来年度へつなぎました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に御理解・御協力を賜り、ありがとうございます。2月14日（金）に行われた今年度最後の学校運営協議会について報告いたします。

1. 学校評価の最終評価結果について（全体会）

学校では、金沢型学校教育モデル、生徒指導、特別活動、教員の業務適正化の分野について、評価項目を設定し、具体的な取組の達成度を評価しています。その結果に関して、各担当より学校の取組状況、成果と課題、改善策等を説明しました。

説明を受けて、委員からの質問や意見交流がありました。主な内容は以下の通りです。頂いた声を今後活かしていきます。

◆新学習指導要領の具体的な内容は？

→高学年の英語科が2時間になります。中学年の総合的な学習も時間が増えるので、日課表を変更するなどし、保護者の方にもお知らせをしました。また、プログラミング学習も各教科の内容に含まれています。（教務主任）

◆泉小学校と泉中学校は同じ敷地内にあるが、泉中学校で中村町小出身の生徒の様子はどうか。

→2、3年になると、どの子が泉小、中村町小か分からないくらい仲良くなり中学校になじんでいます。泉中学校全体として落ち着いており良い子の印象です。（泉中学校長先生）

◆不登校や不登校傾向のある児童への対応は？

→不登校や不登校傾向のある児童は数人います。家庭訪問をしたり、家まで迎えに行ったり、相談室を活用したり、保護者と連絡し合っその子に応じた対応をしています。（教育相談担当）
このような学校の対応があることで、不登校の未然防止にもつながっていると思う。これからも様々な関わりを大切にしていって欲しい。



2. これまでの取組の検証及び今後に向けて（分科会及び全体会）

全体会后、「知」「徳」「体」の分科会に分かれて、これまでの取組の検証及び次年度に向けた協議をしました。それぞれの分科会で話し合われた概要は以下の通りです。

知の分科会

<中村塾>

・児童アンケートでは、肯定意見が100%だったことや、4・5年生で、中村塾で学びたい子が増えていることは成果である。友達とリラックスした中で中村塾の先生方と学べるのがよかったのだろう。

来年度、6年生では、発展問題等も取り入れたらどうか。また、今後、保護者の方々にも中村塾に協力をお願いできるようにすると、低学年も受け入れる工夫ができそうである。



<来年度の総合的な学習>

- ・調べる視点、学び方、表現の仕方を学び、体験学習が生かせるようにするようになるとよい。3、4年合同発表会や廊下に掲示する等を発表方法にも工夫したらどうか。小中一貫や小小連携の中で、9年間の流れを意識して、カリキュラムを作っていくとよい。

徳の分科会

<地域ボランティア授業参加>

- ・福祉体験など実際に体験し学べる機会があることは、地域を知ることや地域の人にもつながり、とても有意義である。継続して実施していきたい。
- ・地域の他の方々にも声をかけて、その他の学習についても講師を増やしていきたい。

<あいさつ>

- ・あいさつバッチの取り組みは良かった。ただ、イベント的に盛り上がるが、その後はトーンダウンする。地域の方々へのあいさつも弱く感じる。そこで、定着・習慣化するためには、家庭との協力が大切である。これからも育友会と連携して取り組む必要がある。
- ・児童館長のあいさつの講話は、いつもの先生の話とは異なり、児童も興味を持って聴いていたので、継続して実施していく。

<携帯電話などのフィルタリング等>

- ・毎年、保護者の皆さんに関心を持ってもらうために、校区内店舗へのフィルタリング依頼やネット依存防止講座も継続して取り組んでいく。



体の分科会

<プロや専門家授業参加>

- ・専門的な指導や知識を交えて児童に伝えていたので、とても効果的だった。来年度も機会を捉えて継続して実施していくとよい。
- ・来年度は、オリンピックやパラリンピックの年である。この機会を捉えて、例年以上に運動を意識させることや様々なスポーツ選手との交流等、工夫して取り組めたらいい。

<環境づくり（視覚化）>

- ・体力テストの結果は、少しずつ上昇している。「私の健康」に、学校運営協議会提案の体力テスト「記録記入カード」を貼り、前の学年の記録と比較できるようにして、成長の見える化を図った。今後は、目標を持たせてたり、互いに競い合ったりして、向上心や意欲を高めることも必要である。

<心の健康(睡眠・生活リズム)>

- ・「中村っ子の『おやすみ』タイム」の取り組みからか、低学年では成果が感じられる。しかし、中・高学年では、テレビやゲーム（ユーチューブ）の時間が増えているからか、就寝時刻が遅くなっている。
- ・来年度も、「中村っ子の『おやすみ』タイム」の周知・活用を図りながら、生活アンケートやネット依存防止講座の開催を継続して実施する。また、児童や保護者にアンケートを実施し、収集した成功事例を発信していく。

※ 今年度までの取り組みからも、ご紹介したい例がありましたので、早速、別紙にて全児童へ配付します。

